

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人名古屋市熱田区社会福祉協議会

はじめに

令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年度に引き続き、感染状況に応じて、度々事業の中止、延期などをするようになりました。日々の生活を始め、地域福祉活動においても自粛を余儀なくされ、安定した活動が継続し続けることができない1年間であったかと思います。この状況下、令和4年度におきましては、感染拡大の状況を考慮しつつ対策を講じ、感染状況により実施内容の変更など、柔軟に対応しながら各種事業を実施しました。

○ 令和4年度は、「『ぬくといつながり』のあるまち熱田」を目指してさまざまな地域福祉に関する取り組みを実施していく第4次熱田区地域福祉活動計画（5か年計画。以下、「4次計画」という。）の4年目でした。コロナ禍においての実施項目の検討を行ったうえ取り組みを実施しました。

○ 地域福祉の推進におきましては、コロナ禍において、地域福祉推進協議会などを中心にふれあい給食会やサロン活動など学区における地域福祉活動が自粛されました。しかし、そういう中でも人とのつながりがとぎれることのないように、地域福祉推進協議会で実施している既存事業の実施方法に工夫をするなどし、取組みの見直しを行いました。また、新たに取り組まれた事業への支援を行いました。その他、地域包括ケアシステムの構築が進められるなか、名古屋市地域支えあい事業については、住民同士の相談支援機能を充実するため、既存の実施学区（区内6学区）への継続支援に加え、新たに1学区の新規事業を開始し、名古屋市内で初めて区内全学区の実施を実現しました。

○ 「ふれあい・いきいきサロン活動」については、新型コロナウイルスの感染対策など、運営にかかる財政面での支援を行いました。また、新たに6カ所のサロン開設がありました。（子ども食堂含む）

生活支援サービスの充実に向けた取り組みとしては、課題検討を行い、制度やサービスの狭間のニーズの検証を行い、新たに開発するサービス、継続協議となる課題について整理しました。

○重層的支援体制整備事業の受託

「8050問題」を始めとした地域住民の複雑・複合化した支援ニーズに対応する包括的な相談支援体制を構築することを目的とした同事業に応募し、契約者として選定されました。

○ ボランティアセンター運営も、コロナ禍に左右された数年間でした。今年度も施設のボランティア受け入れの制限やボランティア団体の活動休止などといったコロナ禍の様相は継続していたものの、少しずつ受け入れや活動を再開するところも増えています。

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が令和5年5月に変更することを受け、ボランティア受け入れを検討する施設からの相談も増えており、ますますボランティア活動者にとって活動の選択ができる状況になってきました。

また、災害に関する情報交換や啓発活動、災害発生時には被災者の生活復旧の支援を行う「あつた災害ボランティアネットワーク」においては、活動自粛があったものの、区役所総務課とも連携し、防災啓発や災害ボランティアセンターの立ち上げを学ぶ研修を実施しました。

- 名古屋市受託事業である「はつらつ長寿推進事業」におきましては、一般介護予防事業地域介護予防活動の支援事業に位置付けられており、平成30年度より3年間の受託期間でしたが、新型コロナウイルスの影響でプロポーザルの実施が延期となり、2年間の受託延長となりました。コロナ禍にあって、実施方法を工夫しながら実施しました。
- 名古屋市熱田福祉会館・児童館の運営におきましては、令和4年度が指定管理3年目でした。令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業中止もしくは縮小期間が発生しました。開館期間においては感染対策を講じながら来館者を受け入れ事業を運営し、楽しく過ごす時間为您提供しました。
- 热田区デイサービスセンターにおきましては、通所介護事業、予防専門型通所介護事業を実施し、ご利用者様が長く在宅生活を続けられるよう、機能訓練指導員による個別機能訓練に取り組んでいただきました。ただしコロナ禍のためレクリエーションなどが予定どおり実施できなかったため、新型コロナウイルスの感染防止対策を十分に講じながら、職員で工夫を凝らしてご利用者様に満足いただけるような運営に努めました。
- 名古屋市社会福祉協議会が運営する熱田区いきいき支援センターにおきましては、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、事業対象者・要支援者に対する介護予防ケアマネジメント業務を実施しました。また、認知症家族支援事業では、家族教室、家族サロン、もの忘れ相談を実施し、日頃の悩みなどの情報交換や交流会を実施しました。加えて、認知症初期集中支援チーム及び認知症地域支援推進員を配置し、個別ケースへの対応や市民への啓発に取り組みました。
さらに、孤立しがちな高齢者の見守り支援事業では、高齢者のニーズに対応できる関係機関と連携しながら、ワンストップ相談窓口としての役割を担いました。
- 名古屋市社会福祉協議会が運営する熱田区介護保険事業所におきましては、居宅介護支援事業、訪問介護事業の運営に引き続き協力し、ご利用者様が安心して地域で暮らし続けられる介護保険サービスの提供に努めるとともに、障害者総合支援法における居宅介護事業においても質の高いサービスの提供に努めました。

実施事業

1 地域福祉活動の推進

(1) 地域福祉推進協議会活動の活性化

地域福祉推進協議会（以下、「推進協」という。）が実施する「ふれあい給食サービス事業・ふれあい・いきいきサロン活動」や「ふれあいネットワーク活動」などの活動支援及び事業参加者の相談支援を職員学区担当制において行いました。

※「ふれあい給食サービス事業」は新型コロナウイルス感染拡大の影響により配食や持ち帰り方式に変更し、ふれあい・いきいきサロン活動は、2部制で行うなど、密集しないようにして開催しました。

(2) 研修会などの開催

① 地域福祉推進協議会研修会

推進協構成員を対象に、先進事例を通じて、今求められる地域福祉推進協議会事業のあり方を考える研修会を開催しました。今年度は白鳥学区の「しらとり子ども食堂」の取り組みを紹介しました。

期日：8月9日 場所：在宅サービスセンター研修室 参加人数16人

② 地域福祉推進協議会連絡会

推進協構成員を対象に、重層的支援体制整備事業の説明と助成金の事務説明を行いました。

期日：3月17日 場所：在宅サービスセンター研修室 参加人数17人

2 名古屋市地域支えあい事業（市委託事業）の実施

住民からの困りごとや悩みごとの相談を受け付け、相談内容の解決に向けたご近所ボランティアの派遣調整を行うご近所コーディネーターを委嘱し、住民にとって身近な場所であるコミュニティセンターでの相談窓口の開設及び支援を行いました。

令和5年3月からは野立学区でも事業を開始し、区内全7学区（高蔵、旗屋、白鳥、船方、千年、野立、大宝）での実施となりました。

【活動実績】

学 区	①相談窓口開設日数	②ボランティア登録人数	③ボランティア実活動者数	④認定事業数	⑤活動ボイント計	内訳		⑥ボイント還元金額（円）
						市認定事業ボイント（高齢者対象）	社協認定事業ボイント（その他）	
高 蔵	94	79	45	14	7,349	6,484	865	73,490
旗 屋	93	122	121	14	3,395	3,134	261	33,950
白 鳥	93	136	104	17	15,787	11,523	4,264	157,870
千 年	94	24	19	7	11,250	1,008	117	112,500
船 方	92	169	123	14	11,652	6,323	5,329	116,520
野 立	4	0	0	0	0	0	0	0
大 宝	92	122	73	12	5,564	5,457	107	55,640
合 計	562	652	412	78	44,872	33,929	10,943	448,720

【具体的な活動の例】

廃品回収品の搬出、書類確認、手すり取付けや電球交換などの簡単な修繕、散歩同行、掃除、庭の水やり、話し相手、ゴミ出し、資源回収の手伝い、買物支援、高齢者サロン・子育てサロンの運営、ふれあい給食会の運営など

※新型コロナウイルス感染対策を講じながら相談窓口を継続して開設。

3 高齢者サロン整備等生活支援推進事業（市委託事業）の実施及びふれあい・いきいきサロンの開設・運営支援

区内における既存のサロン活動を活性化し、新規開設の相談や活動支援などを行いました。また、区内のサロン運営者が一同に会した研修交流会を開催し、コロナ禍におけるサロン運営について各サロンの取り組みや工夫を情報共有し、サロンの相談機能の強化と活動の充実を図りました。

○サロン研修交流会

期日：8月24日、26日

場所：在宅サービスセンター研修室

参加者数：21人（2日間合計）



サロン交流会

4 地域包括ケア推進会議

(1) 地域包括ケア推進会議の開催

P13 参照

(2) 生活支援部会

① 期日：6月24日

場所：在宅サービスセンター研修室

部会員数 17人

② 期日：11月11日 場所：在宅サービスセンター研修室

部会員数 15人

③ 期日：3月28日 場所：在宅サービスセンター研修室

部会員数 15人

部会では課題検討を行い、高齢者が安心して暮らすために必要なサービスについて明確化するとともに、新規に開発するサービス、継続協議となる課題について整理しました。また、高齢者の入院時などのペットの世話について、関係機関との意見交換会や生活支援サービス団体とサービス情報交換会を実施し、関係者のネットワーク作りをすすめました。



生活支援部会

5 高齢者はつらつ長寿推進事業（市委託事業）の実施

コミセンなど区内8会場にて、通称「おひさまクラブ」として、地域ボランティアとの協働により健康増進活動やレクリエーションなどの介護予防活動の普及啓発を通じて介護予防への理解を促し、高齢者の自主活動や地域活動などへの参加促進を図ることを目的に実施しました。なお、この事業は、市施策の一般介護予防事業地域介護予防活動の支援事業に位置付けられており、平成30年度より3年間の受託期間でありましたが、新型コロナウイルスの影響により2年延長され、今年度まで実施しました。



作品づくり



健康体操

場 所	曜 日	時 間	上半期			下半期		
			延 実 施 回数	延 参 加 者数	延ボラン ティア数	延 実 施 回数	延 参 加 者数	延ボラン ティア数
高蔵コミセン	毎週月曜日	1部 9:45~10:30 2部 11:00~11:45	23	362	61	22	363	62
在宅サービスセンター		1部 13:30~14:15 2部 14:45~15:30	23	498	87	22	460	85
大宝コミセン	毎週火曜日	1部 9:45~10:30 2部 11:00~11:45	23	426	49	23	427	64
千年コミセン		1部 13:30~14:15 2部 14:45~15:30	24	323	63	23	258	51
白鳥コミセン	毎週木曜日	1部 9:45~10:30 2部 11:00~11:45	24	399	47	22	379	43
旗屋コミセン		1部 13:30~14:15 2部 14:45~15:30	24	482	47	22	446	43
野立コミセン	毎週金曜日	1部 9:45~10:30 2部 11:00~11:45	24	449	48	24	470	47
船方コミセン		1部 13:30~14:15 2部 14:45~15:30	22	504	84	23	500	87
合 計			187	3,443	486	181	3,303	482

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により2部制少人数にて開催。

6 第4次熱田区地域福祉活動計画の実施

(1) 会議など

①地域福祉推進会議 8月30日、2月4日

②活かす会議 10月31日

(2) 実施事項

①組み合わせる

○生活支援部会（熱田区地域包括ケア推進会議の部会）

P4 参照



②育む

○福祉教育の実施

P7 参照

○あったか食サポート事業の実施（計9回 延15団体）

- ・熱田福祉会館・児童館に、企業連携による子ども食堂などへの食支援拠点を設置しました（11月17日初回実施）。

○つながりあった会議[誌上フォーラム]

- ・「子どもたちのために・次の世代につなげるために」

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和3年度に引き続き誌上形式にて実施。

③活かす

○UR都市機構との協働イベント実施（9月17日）

- ・日比野東団地で開催されたイベントに参画しました。

○つながり動画制作プロジェクト

- ・「第3回つながり動画発表会」が開催され、つながりを育む施設や活動団体が紹介されました。

○誰もが暮らしやすい街づくりプロジェクト

- ・学生と視覚障がいをお持ちの当事者の方による実地での学習会を開催しました。

○みんなでのばそう！健康寿命

- ・フレイル予防のために、人との交流や助け合いの取り組みをするごとにポイントが貯まる、ポイント制度を導入して実施しました。

7 重層的支援体制整備事業の実施

10月1日から、令和4年度のモデル事業開始に向けて、関係機関への周知や連携のための関係づくりなどの準備を開始し、関係機関などから寄せられた相談に対応しました。

【契約期間】

令和4年10月から事業準備期間。

令和5年4月から令和6年3月31日までモデル事業実施。

※令和8年3月31日までの間に限り、年度ごとに継続委託の適否判断により更新可能。

【令和4年度相談件数】

26件

【実施内容】

①連携体制構築のため、関連する会議への出席、地域で実施されている各支援団体の行事などに参加し、事業の周知及び、連携体制構築を進めました。

②様々な福祉課題を抱えた世帯への支援を行いました。

8 ボランティア活動の振興

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティア登録数

団体 81団体（1,325人）

個人 103人

② ボランティア相談の充実

ボランティア活動の活性化を目的に、ボランティア相談を受け付けました。

③ ボランティア活動保険・行事用保険の加入受付

安心してボランティア活動ができるよう、ボランティア保険への加入推奨、受付を行いました。

・ボランティア活動保険加入 計 1, 077人

・ボランティア行事用保険加入 計（延べ）95件、6, 141人

(2) ボランティア情報紙の充実

ボランティアに関する情報を集積し、広く区民に発信していくために、ボランティア情報紙「あつたボランティア通信」(No.80、No.81、No.82)を発行しました。

(3) 福祉教育の充実

学校などからの依頼を受けて、福祉教育サポーターとの企画検討・立案、サポーターや当事者講師の派遣など、福祉教育を実施しました。

コロナウィルス感染症拡大の影響により疑似体験だけではなく講演会を中心としたプログラムを実施しました。

① 船方小学校 5年生

11月25日 点字体験とボッチャ交流

② 大宝小学校 4年生

11月8日、12月13日、3月8日 ボッチャ交流、点字・手話・車いす体験

③ 沢上中学校 1年生

11月28日、12月5日、12月12日 アイマスク体験と車いす体験

④ 沢上中学校 3年生

6月6日 障がい当事者による道徳講演会

⑤ 宮中学校 2年生

9月30日 キャリア教育

⑥ 南養護学校 中等部2年生

2月1日 地域住民とのボッチャ交流

⑦ 南養護学校 高等部2年生

2月6日、2月13日、2月27日 手話体験と点字体験

⑧ 名古屋学院大学

6月21日 ボランティア学での講義

(4) あつた災害ボランティアネットワークとの連携・活動支援

「あつた災害ボランティアネットワーク」、区役所と連携し、災害に強いまちづくりに向けた防災啓発に取り組むとともに、「あつた災害ボランティアネットワーク」の活性化を図るための活動を支援しました。

【定例会】毎月 主に第2土曜日

① 4月9日 ②5月14日 ③6月11日 ④8月6日 ⑤10月1日

⑥11月12日 ⑦12月10 ⑧2月18日 ⑨3月12日

※7、9、1月は中止。

【主な活動実績】

① 神宮ハウジングセンターイベント参加（7月16日から18日）

② イオンモール熱田防災イベント参加（9月18日）

③ 災害ボランティアセンター運営訓練（3月11日）

9 福祉情報の発信・啓発

(1) 広報紙「福祉あつた」の発行

熱田区社会福祉協議会 広報紙「福祉あつた」を年3回（6・10・2月）発行し、組回覧による区民への情報提供を行ないました。

No.78、No.79、No.80 各3,550部発行

(2) 音声訳テープ貸出事業の推進

朗読ボランティアグループ「銀のすず」の協力を得て「広報なごや熱田区版」音声訳テープ貸出事業を実施しました。

利用者数	2人
延利用者数	24人

(3) ホームページの内容充実

情報発信の場として活用するとともに、双方向性を生かして、区民との交流の場としても活用できるよう内容の充実に努めました。また、社会福祉協議会の事業を広く知っていただくため、インスタグラムを開始すると共に、ブログの充実に努めました。

10 在宅サービスセンターの運営

熱田区在宅サービスセンターは、誰もが住みなれた家庭や地域で安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の連携に努め、在宅サービスの提供と地域福祉活動の推進を総合的に進めることを目的に設置されています。

通所介護事業（熱田区デイサービスセンター）の運営を始め、地域福祉活動の拠点として、研修室、ボランティアルーム、調理実習室などの貸し出しを行いました。また、区民の方の利便性を考慮し、ボランティアの方々にご協力をいただき、施設内の整理整頓に努めるとともに、授産製品の販売協力を行いました。

【利用実績】

	研修室	ボランティアルーム	録音室	点訳室	調理実習室	合計
延利用団体数(グループ)	316	270	19	70	127	802
延利用者数(人)	5,480	1,640	108	104	969	8,301

11 賛助会員事業

(1) 賛助会員募集（アツツタック福祉サポーター募集）

熱田法人会の協力を得て広報活動を展開し、賛助会員の募集を実施しました。

法人・団体	72件 (746,000円)
個人	19件 (70,000円)
賛助会費	816,000円

(2) 寝具クリーニング事業の実施

在宅福祉サービスの一環として、介護保険の要支援・要介護認定を受けているひとり暮らし高齢者や生活保護受給者などを対象に、賛助会費を活用した寝具クリー

ニング事業を実施しました。

利用者数 51人

(3) 在宅介護用品貸出事業の充実

在宅福祉サービスの一環として、介護保険外で一時的に車いすを必要とする方を対象に、車いすの貸出しを行いました。

法人賛助会員や区内サロンなどを対象に、ボッチャやボードゲームなどのレクリエーション用品の貸出しを実施しました。

利用件数 76件

1 2 熱田区デイサービスセンターの設置運営

介護保険法による通所介護事業について、下記の特徴を活かして実施しました。

(1) 機能訓練・レクリエーションの充実

機能訓練指導員が直接指導し、お客様個々の身体状況にあわせた運動プログラムに基づき、機能低下を防止する運動を行いました。また、楽しく無理なく身体を動かせるよう健康体操・音楽療法・ヨガ・太極拳などレクリエーションを行いました。

(2) 認知症予防への取り組み

計算問題・回想法やトランプ、脳を使うレクリエーションに毎日取り組んでいたきました。

【デイサービスセンター利用実績】

年間 1 日平均利用者数 20.8 人 (昨年度 20.5 人)

【月間延利用者数と 1 日平均利用者数】

(人)

月	運営日数	延利用者数	1 日平均利用者数	月	運営日数	延利用者数	1 日平均利用者数
4月	26	516	19.8	10月	26	601	23.1
5月	26	534	20.5	11月	26	597	23.0
6月	26	507	19.5	12月	23	473	20.6
7月	26	515	19.8	1月	24	493	20.5
8月	27	545	20.2	2月	24	483	20.1
9月	26	574	22.1	3月	27	551	20.4
合 計				307	6389	20.8	

1 3 福祉会館・児童館の管理・運営

(1) 福祉会館の管理運営

高齢者の福祉の増進に寄与することを目的に設置され、無料の健康相談を始め各種相談、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション活動などに関する事業を実施いたしました。 *指定管理期間（令和2年度～6年度）

【事業実績：福祉社会館利用状況】

利用者数			講座（華道・書道・体操など）	
個人利用	団体利用		回数	人員
	団体	人員		
13,640人	379団体	2,816人	360回	8,102人

（2）福祉社会館認知症予防事業

市内在住の65歳以上の高齢者の方などを対象とした「認知症予防教室」や地域で認知症予防を普及啓発するリーダーを養成する「認知症予防リーダー養成講座」「フォローアップ交流会」を実施いたしました。また、新企画として「お出かけ回想法」を実施し、コロナ禍で外出機会が少なくなってしまった利用者へ向けて、外へ出るきっかけづくりを行いました。

① 認知症予防教室

実施回数	延人員
141回	1,398人

② 認知症予防リーダー養成講座・フォローアップ交流会

実施回数	延人員
35回	146人



認知症予防教室「のびやかクラブ」



「お出かけ回想法」

（3）児童館の管理運営

遊びは、子どもの成長過程において、体力増進や集団性・社会性・創造性などを養い、よりよい成長を促す重要な糧となります。熱田児童館では、活動の中で、子どものよりよい成長を考えた遊びのプログラムや遊び場の提供に努めるとともに、児童館がすべての子どもたちが安心して遊び、過ごすことができる居場所となることを目指し、事業に取り組みました。

今年度は、新型コロナウイルスに配慮しながら事業を開催し、人数規模を考えて事業実施をするよう心掛けました。年度後半には賑わいも戻りつつあり、前年度を上回る利用状況になりました。

【事業実績：児童館利用状況】

館内遊び場利用（延べ人数）					
幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
3,332人	4,536人	269人	44人	3,374人	11,555人

健全育成事業				クラブ活動	
館内事業		館外事業		クラブ活動	
開催回数	利用者数	開催回数	利用者数	開催回数	出席者数
867回	3,243人	19回	329人	60回	594人

【中学生の学習支援事業・高校生世代への学習・相談支援事業】

ひとり親、生活保護、生活困窮者家庭の中学生を対象に学習支援事業及び、高校生世代への学習・相談支援事業を実施しました。

中学生の学習支援事業		高校生世代への学習・相談支援事業	
開催回数	出席者数	開催回数	出席者数
99回	117人	99回	7人



クライミング体験



あっちゃんファーム芋ほり

1.4 その他の事業

(1) 共同募金運動への協力

募金活動を通して、福祉の理解（啓発）や福祉活動への参加を呼びかけました。

(2) 生活福祉資金貸付事業の実施

新型コロナウイルス感染拡大の経済的影響により休業などを理由に一時的な資金が必要な方への貸付を特例的に実施しました。

①緊急小口資金・特例貸付	
相談件数	86件
貸付決定数	50件
貸付金総額	10,000,000円

②総合支援資金（生活支援費）・特例貸付	
相談件数	81 件
貸付決定数	45 件
貸付金総額	21,900,000 円

③上記以外で低所得者の方などに民生委員と協力して資金の貸付を実施	
相談件数	43 件
貸付決定数	1 件
貸付金総額	150,000 円

④緊急小口資金・通常貸付	
相談件数	65 件
貸付決定数	5 件
貸付金総額	500,000 円

（3）その他の支援事業

福祉関係団体の実施する事業に対し、愛知県共同募金会からの配分金により助成事業を実施し、高齢者、児童、障がい者の各団体の地域における福祉活動を支援しました。

1.5 名古屋市社会福祉協議会のいきいき支援センターの運営事業への協力

高齢者が住み慣れた地域で、可能な限り地域において自立し、安定的な生活ができるように、総合相談支援、介護予防マネジメント、見守り支援事業等を行ういきいき支援センター事業に協力し、関係機関との連携のもと円滑な事業・運営に努めました。

（1）熱田区いきいき支援センター事業

【相談状況（延件数）】

総合相談支援・権利擁護事業	包括的・継続的 ケアマネジメント事業	
3,417 件	困難ケース相談 689 件	ケアマネ支援 2,153 件

【第1号介護予防支援・介護予防支援の利用状況（延人数）】

利用者数	うち地域包括直営分	うち居宅介護支援事業所委託分	委託率
10,556 人	2,303 人	8,253 人	78.2%

(2) 見守り支援事業

【地域との関わりづくりなど】

通報件数	相談対応件数（延人数）
8 件	759 件

【いきいきコール】

ケース数	相談件数（延人数）
26 人	875 人

(3) 認知症高齢者を介護する家族支援事業

「家族教室」「家族サロン」「医師の専門相談」を実施し、また認知症に関する普及啓発のため、「認知症サポートー養成講座」を実施しました。

【認知症高齢者を介護する家族支援事業】

家族教室		家族サロン		医師の専門相談	
回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
10 回	38 人	12 回	144 人	11 回	23 人

※医師の専門相談は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催中止の月あり。

【認知症サポートー養成講座】

実施回数	受講者数
29 回	487 人

(4) 地域包括ケア推進会議

① 地域包括ケア推進会議の開催

地域の保健・医療・福祉サービスやボランティア活動などに関係する団体が、住み慣れた地域において高齢者が安心して生活できるよう、高齢者の支援を進めるための協議を目的に地域包括ケア推進会議を開催しました。

第1回：8月25日開催 第2回：3月2日開催。

② 認知症専門部会の開催

地域包括ケア推進会議では、認知症高齢者が地域で安心して生活していくための取り組みを検討する専門部会を設置・開催しました。

第1回：7月6日開催 第2回：12月8日開催 第3回：2月9日開催

③ 生活支援部会の開催

P4 参照

1.6 名古屋市社会福祉協議会の「居宅介護支援事業」及び「訪問介護事業」への協力

本会事務所に設置している名古屋市社会福祉協議会の「介護保険事業所」に協力し、居宅介護支援事業と訪問介護事業の円滑な事業・運営に努めました。

(1) 热田区介護保険事業所の状況（令和5年3月末現在）

① 居宅介護支援事業

ア 介護支援専門員数	…	5人
イ 居宅サービス計画作成依頼数	…	177人
(内訳) 介護給付		… 110人
予防給付		… 47人
総合事業		… 20人

② 訪問介護事業

ア 訪問介護員数…47人

(内訳) サービス提供責任者	…	6人
パートサービス提供責任者	…	0人
ホームケアスタッフ	…	1人
なごやかスタッフ	…	40人

(常駐スタッフ1人含む)

イ ホームヘルプサービス件数…222人

(内訳) 介護保険サービス利用	…	162人
-----------------	---	------

〔	介護給付	… 55人
	予防専門型訪問	… 98人
	生活支援型訪問	… 9人

介護保険外サービス利用 …… 60人

〔	障害者自立支援	… 48人
	家事介護（産前産後・ひとり親）	… 3人
	生活応援サービス	… 6人
	養育支援	… 3人

会議開催

【理事会】

回	日付	議題等
令和4年度 第1回理事会	令和4年 6月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告書について ・令和3年度決算書について ・役員の一部選任に係る候補者の提案について ・評議員選任・解任委員会の開催並びに評議員候補者の推薦について ・諸規程の一部改正について ・新規事業受託に係る公募型プロポーザルへの応募並びにコンソーシアム協定の締結について ・定時評議員会の招集について
令和4年度 第2回理事会 (みなし決議)	令和4年 6月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長の選任について

令和4年度 第3回理事会	令和4年 1月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の一部選任に係る候補者の提案について ・令和4年度社会福祉事業補正予算について ・諸規程の一部改正について ・評議員会の招集について
令和4年度 第4回理事会 (みなし決議)	令和5年 2月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員選任・解任委員の一部選任について ・評議員選任・解任委員会の開催について ・評議員の一部選任に係る候補者の推薦について
令和4年度 第5回理事会	令和5年 3月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の選任について ・副会長の選任について ・総括理事の指名について ・役員（理事）候補者の選任について ・令和4年度第2回補正予算について ・令和5年度事業計画について ・令和5年度資金収支予算について ・役員等賠償責任保険の契約について ・諸規程の一部改正について ・名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業にかかる契約の締結について ・令和5年度評議員会の招集について

【評議員会】

回	日付	議題等
令和4年度 第1回 評議員会	令和4年 6月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告書について ・令和3年度決算書について ・役員（理事・監事）の選任について ・役員等の報酬に関する規程の一部改正について
令和4年度 第2回 評議員会	令和4年 1月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・役員（理事）の選任について ・令和4年度資金収支補正予算について
令和4年度 第3回 評議員会	令和5年 3月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・役員（理事）の選任について ・令和4年度第2回補正予算について ・令和5年度事業計画について ・令和5年度資金収支予算について

【評議員選任・解任委員会】

回	日付	議題等
第1回	令和4年 6月 3日	熱田区在宅サービスセンター 研修室 ・評議員の選任の議決
第2回	令和5年 3月 7日	熱田区在宅サービスセンター 研修室 ・評議員の選任の議決

事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。